万博開催期間中の道路交通状況について

令和7年11月25日

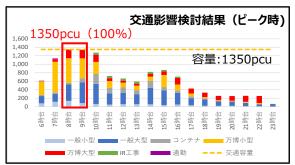
万博会場周辺の道路交通状況【万博開催期間(4/13~10/13)】

モニタリング結果

- 万博開幕後、万博会場周辺の主要ポイントにおいて、AIカメラ、トラフィックカウンターにより、毎日の交通量を 把握し、分析を実施
- 交通影響検討で実施した結果と実績の傾向は一致しており、交通量のピークは、同じ箇所及び時間帯で発生
- 万博期間中の6カ月間においては、万博会場周辺の<u>道路交通は交通容量を下回り、混雑は発生しなかった</u>
 - ◆来場方向のピーク値 高速ルート (湾岸舞洲出口 天保山方面から) の10時台が容量比89% (10/8 (水))
 - ◆退場方向のピーク値 南ルート (咲洲トンネル西交差点) の15時台が容量比85% (6/23 (月))

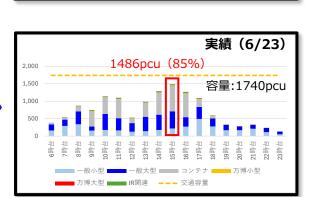
> 咲洲トンネル西交差点 (南・中央ルート)

■ 既設AIカメラ ■ ライブカメラ ◆来場方向:高速ルート(湾岸舞洲出口天保山方面から)



◆退場方向:南ルート(咲洲トンネル西交差点)





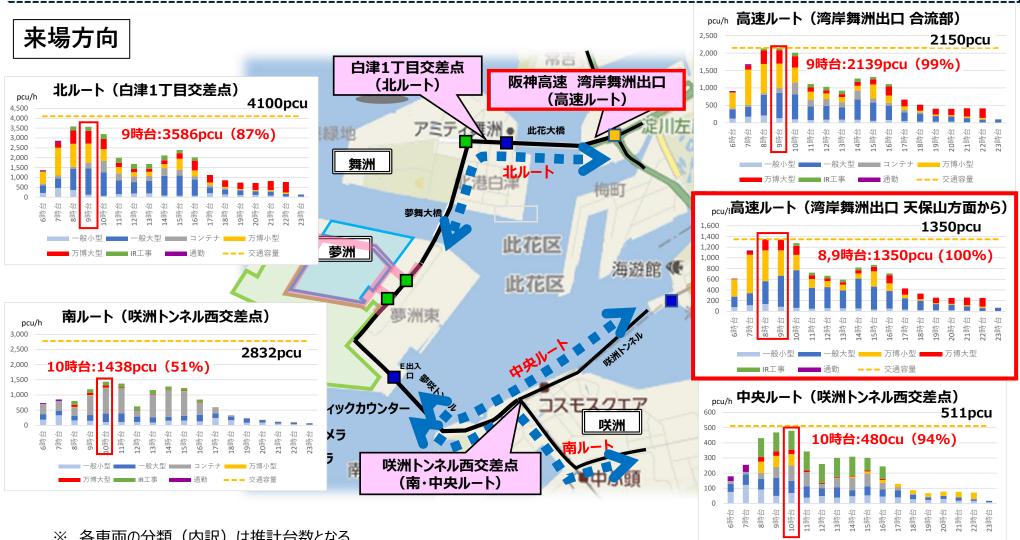
1204pcu (89%)

実績(10/8)

容量:1350pcu

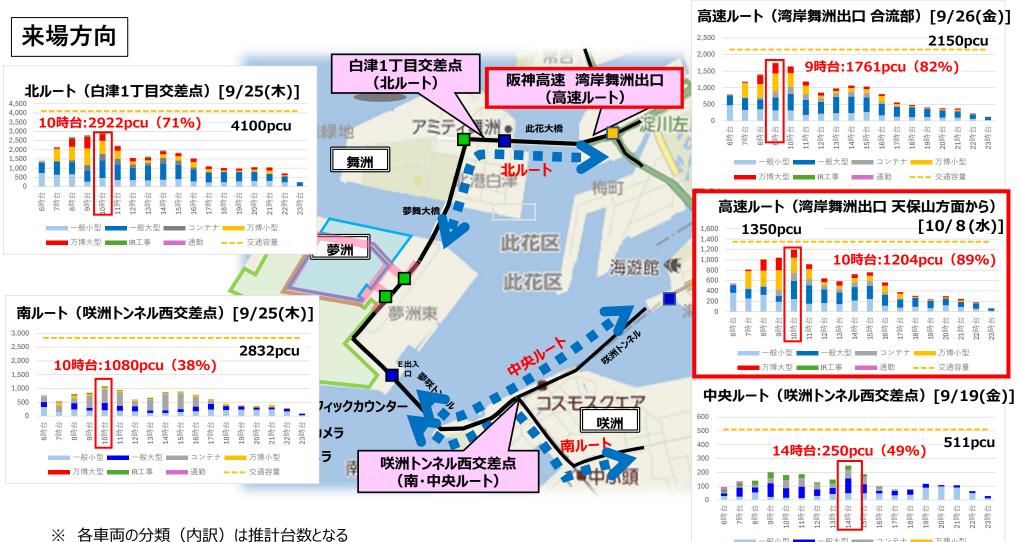
来場方向の交通影響検討結果(ピーク時)

- ◆交通影響検討結果(ピーク時)
 - ・来場方向で最も交通負荷がかかる箇所は、高速ルート(湾岸舞洲出口 天保山方面から)
 - ・8時台と9時台において、交通容量に対して100%に達する検討結果



来場方向の実績 【万博開催期間(4/13~10/13)】

- ◆実績(万博開催期間(4/13~10/13)のモニタリング・分析結果)
 - ・来場方向で最も交通負荷がかかる箇所は、高速ルート(湾岸舞洲出口 天保山方面から)
 - ・10時台で交通容量に対して89%の実績



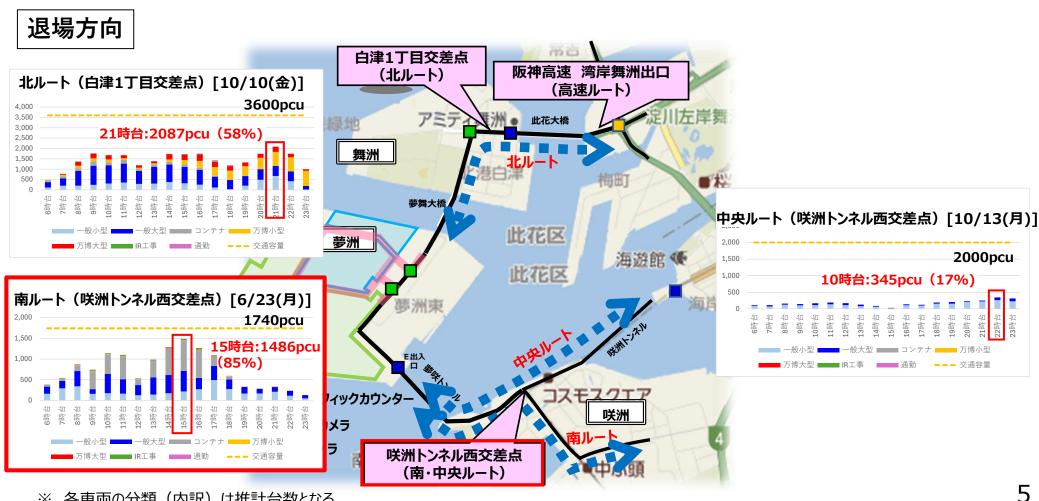
退場方向の交通影響検討結果(ピーク時)

- ◆交通影響検討結果(ピーク時)
 - ・退場方向で最も交通負荷がかかる箇所は、南ルート(咲洲トンネル西交差点)
 - ・14時台で交通容量に対して98%という検討結果



退場方向の実績 【万博開催期間(4/13~10/13)】

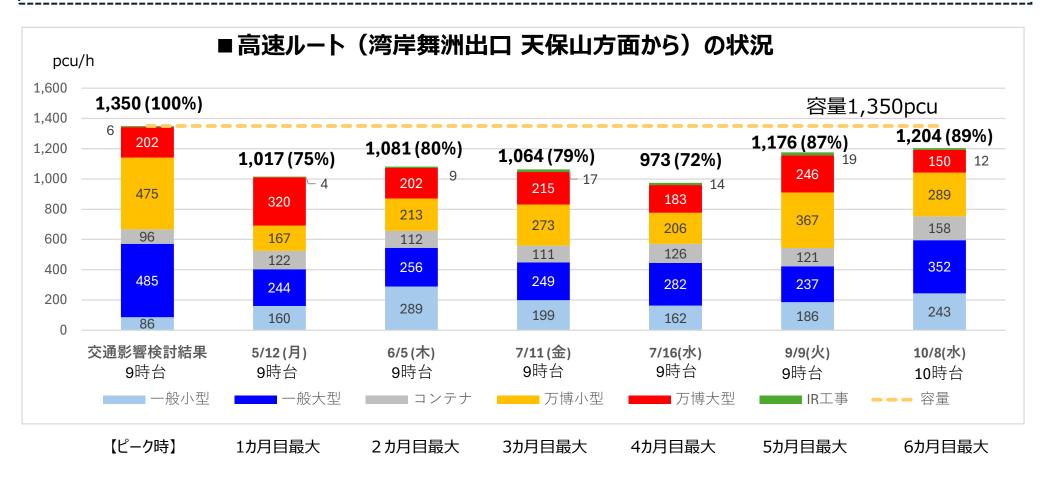
- ◆実績(万博開催期間(4/13~10/13)のモニタリング・分析結果)
 - ・退場方向で最も交通負荷がかかる箇所は、南ルート(咲洲トンネル西交差点)
 - ・15時台で交通容量に対して85%との実績
 - ・万博車両が多い北ルートについても、交通容量を下回っている



来場方向の道路交通状況のまとめ 【万博開催期間(4/13~10/13)】

来場方向のモニタリング結果

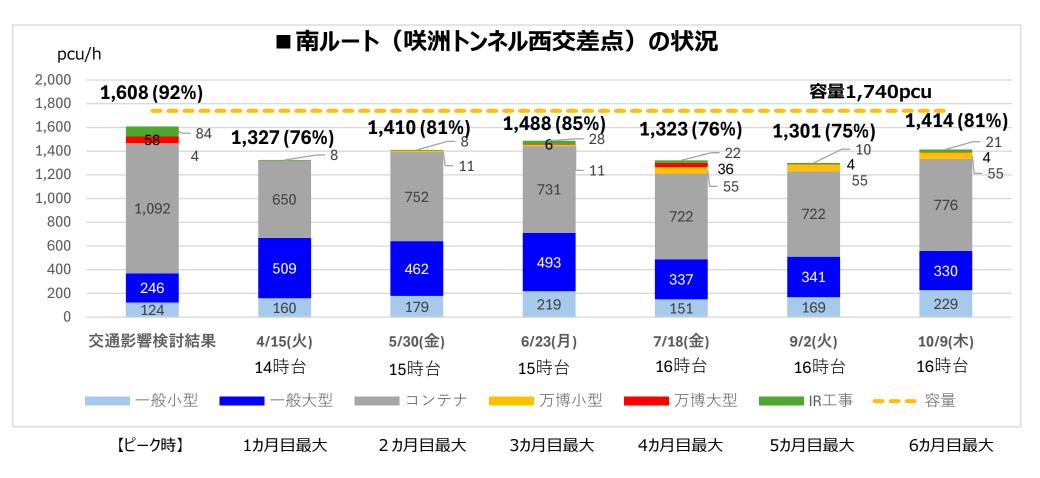
● 万博期間中の来場方向のモニタリング結果は、会期終盤の万博来場者の増加により、道路交通量が増加したが、最も厳しい阪神高速湾岸舞洲出口(天保山方面から)の9時・10時台においても、交通容量比の89%と容量を下回る結果となり、万博会場の周辺道路の混雑は発生しなかった。



退場方向の道路交通状況のまとめ 【万博開催期間(4/13~10/13)】

退場方向のモニタリング結果

● 万博期間中の退場方向のモニタリング結果は、南ルートの昼間が最も厳しかったが、万博交通(タクシーなど)の台数が少なく、物流交通も大きく増加することがなかったことから、ピーク値でも交通容量比の85%と容量を下回り、万博会場の周辺道路の混雑は発生しなかった。



万博会場周辺以外の道路交通状況 【万博開催期間(4/13~10/13)】

- 万博会場への主要アクセスルート(高速道路含まず)や主要アクセスルートを補完するルートにおいて、 JARTICから渋滞情報データを入手し、万博開催前(1年前の同時期)のデータと比較。
- 万博開催期間は、万博交通による大きな渋滞は発生していない。

万博会場周辺以外の交通状況の確認箇所

凡。例

_____ 万博会場への主要アクセスルート (高速道路含まず)

----主要アクセスルートを補完するルート

---- 万博会場周辺以外

JARTICデータ入手箇所 (モニタリング箇所)

